

2026年(令和8年)3月期 第3四半期決算説明資料

ASEEDING THE FUTURE

人、地球、未来—すべての笑顔と健康のために

ASEED アシードホールディングス株式会社

【証券コード:9959】

1. 2026年3月期 第3四半期決算概況

2. セグメント別概況

3. 2026年3月期 業績予想

4. トピックス

APPENDIX. 当社グループ概要

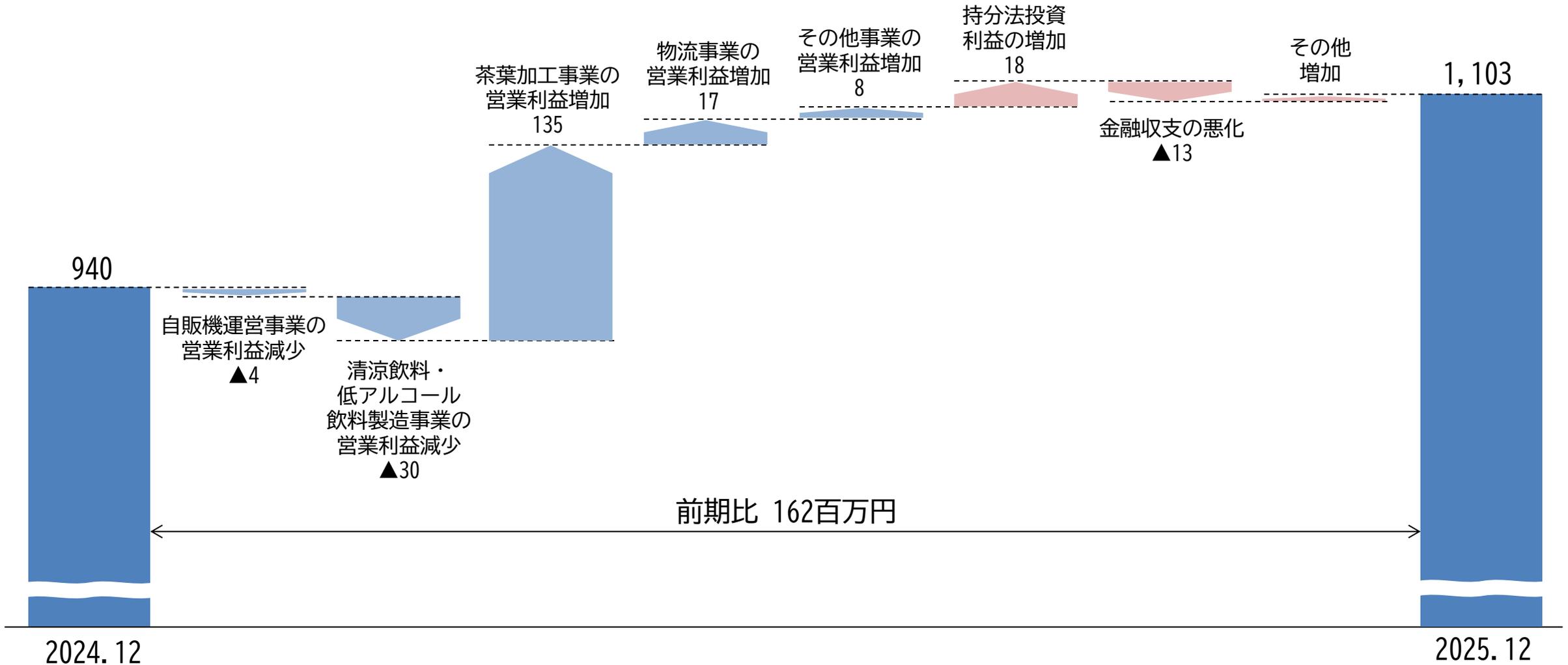
1. 2026年3月期 第3四半期決算概況

- 自販機オペレーター業界においては、物価高による自販機離れの加速や一部メーカーの商品提供の遅延により業界再編の機運が高まる。
- 低アルコール市場についてはコロナ渦に拡大した家飲みが一服し、商品の乱立により競争が激化している。
- 世界的な緑茶ブームが継続しており、価格に過熱感がみられるものの需要が減退する傾向は未だ見られない。

	2025年3月期 (第3四半期)	2026年3月期 (第3四半期)	増減率
売上高	18,560百万円	19,420百万円 (860百万円増)	4.6%
営業利益	716百万円	854百万円 (138百万円増)	19.3%
経常利益	940百万円	1,103百万円 (162百万円増)	17.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	721百万円	779百万円 (57百万円増)	8.0%

2026年3月期 第3四半期 経常利益増減要因

営業利益 営業外損益 (単位：百万円)



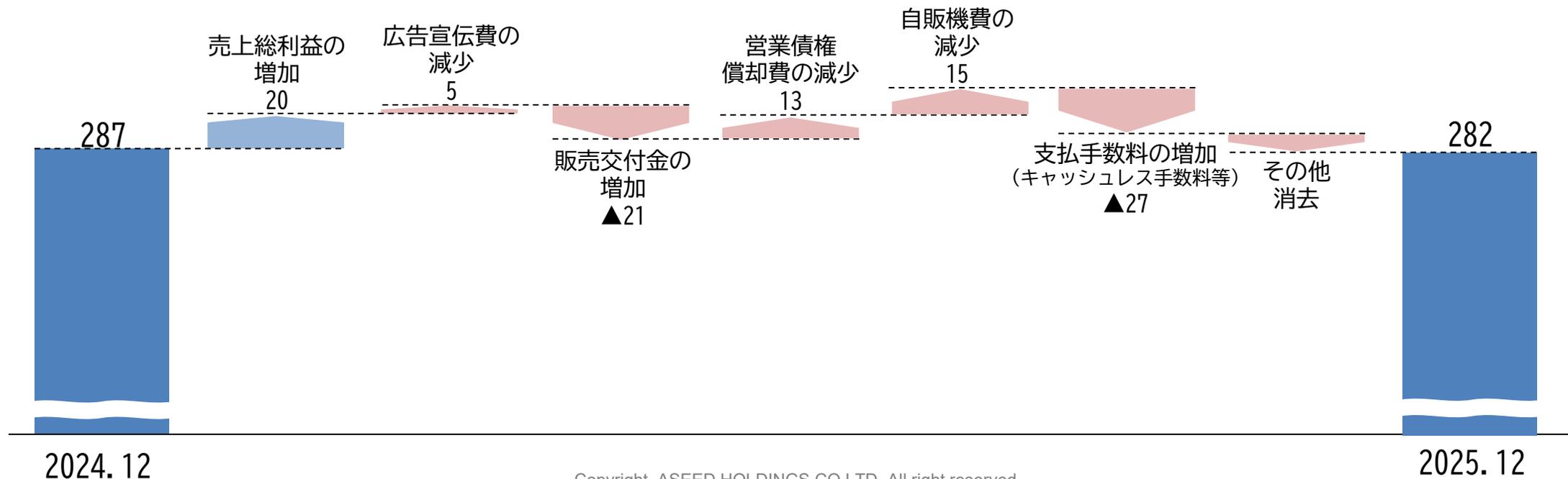
2. セグメント別概況

	売上高		営業利益	
	2025年3月期 (第3四半期)	2026年3月期 (第3四半期)	2025年3月期 (第3四半期)	2026年3月期 (第3四半期)
自販機運営リテイル事業	10,550百万円	10,768百万円	287百万円	282百万円

・メーカー商品の相次ぐ値上げや消費者の節約志向による販売数の減少やキャッシュレス対応によるコスト増
 ・設置条件の改善や不採算機の引揚など利益率の改善に向けて取り組みを続ける
 ・次なるメーカー商品の値上げに備え、販売数量の減少にも耐えうる収益基盤の確立注力

● 営業利益増減要因

■ 売上総利益 ■ 販売管理費 (単位：百万円)

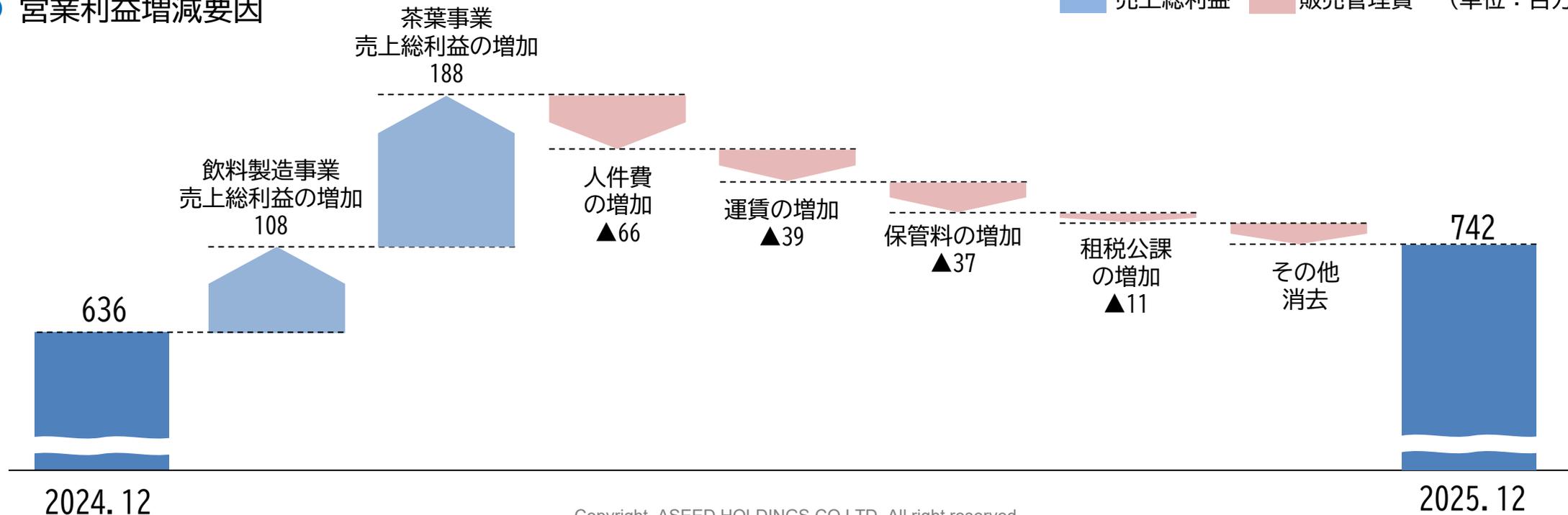


	売上高		営業利益	
	2025年3月期 (第3四半期)	2026年3月期 (第3四半期)	2025年3月期 (第3四半期)	2026年3月期 (第3四半期)
飲料製造事業	7,713百万円	8,324百万円	636百万円	742百万円

・世界的な抹茶ブームは留まることなく、静岡ローストシステムの茶葉加工が堅調に推移
 ・酒類・飲料製造の2社においては、製造数量の回復は緩慢で業績は回復基調であるが前年の利益水準には届いていない
 ・自社ブランド商品の拡販を中長期の最重要事項に位置づけ、マーケティング・販売戦略を強化

● 営業利益増減要因

■ 売上総利益 ■ 販売管理費 (単位：百万円)



	売上高		営業利益	
	2025年3月期 (第3四半期)	2026年3月期 (第3四半期)	2025年3月期 (第3四半期)	2026年3月期 (第3四半期)
不動産運用事業	105百万円	108百万円	164百万円	172百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・当社およびアオンスエステート(株)を中心に所有不動産の運用 ・セグメント間の内部売上高を含めると売上高は292百万円 				
その他事業	190百万円	219百万円	27百万円	44百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・東西飲料工場の物流部門を強化するとともに、グループ内物流の内製化を進める ・ロジックイノベーション(株)の環境事業を2025年12月に終了し、物流効率化に経営資源を集中 				

3. 2026年3月期 業績予想

	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	増減率
売上高	23,969百万円	26,000百万円 (2,030百万円増)	8.5%
営業利益	765百万円	1,000百万円 (234百万円増)	30.6%
経常利益	1,093百万円	1,300百万円 (206百万円増)	18.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	748百万円	840百万円 (91百万円増)	12.2%

- ・仕入商品や原材料・資材・燃料費の値上がりが続く中、生産性の向上や適正な価格改定に取り組む
- ・グループ各社が得意分野を伸ばすとともに、相互のシナジー効果を高める
- ・ブランド価値の創造に取り組む
- ・昨年10月の飲料製造事業の再編に伴うマイナス要因がなくなる

4. トピックス

- ストレート果汁使用の低アルコール飲料「家バル」



- ためして寒天 シャインマスカット



- スポリカ 広島ドラゴンフライズ コラボデザイン



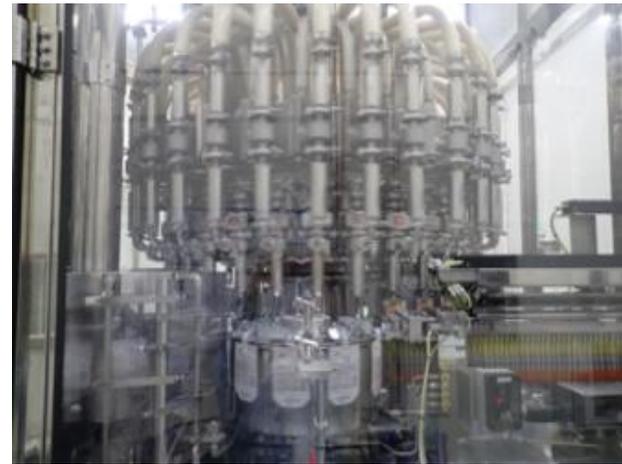
「大人のCRAFT 無糖サワー」



- アシードブリュー(株) 東広島飲料工場にソフトパウチ飲料製造ラインの新設
 - ・建物および設備投資額 30億円(予定)
 - ・宇都宮飲料工場で2018年4月より、ソフトパウチ飲料製造ラインが稼働中で、操業開始以来順調に製造数量を伸ばし、フル操業状態。今回の新設により、ソフトパウチ飲料についても東西2拠点体制とする
 - ・2027年1月稼働開始予定
 - ・3カ年計画で稼働率を高め、年間245万ケース、経常利益3億円を見込む



ソフトパウチ飲料ライン(宇都宮飲料工場)

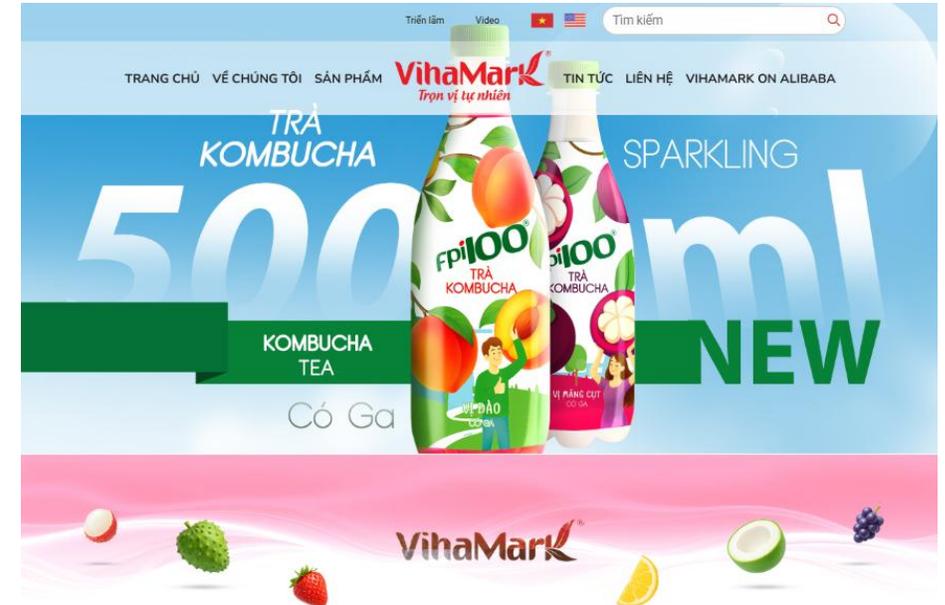


工場完成イメージ

- VIHAMARK GROUP JOINT STOCK COMPANYの株式を2025年12月16日に取得。2026年1月16日に企業登録証明書の発給を含め、手続きが完了（出資比率は37.22%）

VIHAMARK GROUP は、ベトナム国北部において清涼飲料の製造販売を展開。当社が出資することを契機にし、低アルコール飲料の製造販売を新たに開始することを目指す。

- ・ベトナム国内での新たな販路の獲得による業容拡大
- ・当社グループの海外事業強化に寄与



6 DANH MỤC SẢN PHẨM



			セグメント売上高 連結売上に占める率 (2025年3月期)
自販機運営 リテイル事業	 アシード株式会社 (子会社)株式会社いいじま	飲料・食品自動販売システムの運営・販売	13,614百万円 56.8%
飲料製造 事業	 アシードビバレッジプラス株式会社 (旧 アシードブルー株式会社)	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の企画開発・販売	9,961百万円 41.6%
	 アシードブルー株式会社 (旧 宝積飲料株式会社)	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の製造	
	 株式会社河村農園	健康茶などの加工商品化・販売	
	 静岡ローストシステム株式会社	茶葉の受託加工・製造・販売	
	 マルサン萩間茶株式会社	茶の加工及び販売、オンラインストアの 経営	
不動産 運用事業	 アオンズエステート株式会社	不動産の開発・運営・賃貸及び管理	140百万円 0.6%
その他事業	 ロジックイノベーション株式会社	納品代行・納品前作業代行・輸送業務・ 海外輸出入業務、廃棄物のリサイクル事業	252百万円 1.0%

※不動産運用事業のセグメント売上高・率には、アシードホールディングス(株)等の実績も含む

本資料に記載されている、当社グループの業績予想は、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報に基づく経営者の判断などを基礎としています。実際の業績は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、記載する見通しと異なる可能性がある事をご承知おきください。

また、当資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としており、当社株式の購入を勧誘するものではありません。投資の最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

アシードホールディングス株式会社
経営企画グループ

T E L : 084-923-5552

E-mail : kikaku@aseed-hd.co.jp

U R L : <https://www.aseed-hd.co.jp/>